

令和4年6月25日

令和4年度 総務委員会 活動方針

副会長 田口 智之
専務理事 高地 たか子
委員長 宮本 昌尚

1. 総会、理事会など諸会議の設営

組織全体の動きを把握しながら、理事会や各事業が円滑に運営できるように努める。

定款に沿った諸会議の運営、有意義かつ効率的な議論の場となるよう準備、運営を行う。

インターネットを活用した完全オンライン会議の他に、ハイブリッド形式などの会議運営も積極的に活用し実施していく。同時にコロナ収束後を見据え、新しい会議の形を模索していく。

2. 地区間交流助成事業の実施

昨年度に引き続き地区間交流助成事業を実施する。徐々に県境を越えての活動が活発化してきていることも見据え、多くの学校園に活用していただけるように事業の拡大と活動事例を挙げた周知を行う。

3. 第3回「全附P連みんながつながるオンライン文化祭2022」の運営

本年度も制約の多い学校生活となる中で、子どもたち、教職員、保護者が自分たちの活動を発信するとともに、他の学校園の活動を知ることができる貴重な事業として継続していく。また広報委員会と協力しながら効果的な周知に努め、より認知度を上げていきたい。

4. PTA表彰

他の学校の模範かつ先進的で優れた活動を行った団体を表彰する。多くの応募をいただけるよう周知、工夫をしていく。

5. 対外組織との連携を図る

文部科学省をはじめとする関係省庁、関係団体との連携をより強固なものにし、積極的に連携、交流を図れるように、連絡調整に努める。また、「全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会」とも連携し、定期的に意見交換をする機会を準備する。

6. その他

全国大会実行委員会、70周年式典実行委員会、運営企画会議への参画。

令和4年度 財務委員会 活動方針

副 会 長 田口 智之
専 務 理 事 高地 たか子
委 員 長 森川 誠

1. 会計業務全般

事務局と連携して、定期的に現金および預金の残高および現金出納帳と預金通帳の収支の確認を行う。また、予算の執行状況について確認をするとともに、理事会においてその執行状況と今後の決算の見込みについて報告し、事業予算の適正執行にむけて、事業の推移を適宜確認する。

2. カンガルー保険関係業務

カンガルー保険を広く普及させるための啓発活動を行う。コロナ禍においてカンガルー保険の果たせる役割について保険内容の検討見直しを行う。また、GIGAスクール構想に伴い支給されているパソコンやタブレット端末の破損に対する保険についての見直し、学校管理下でない放課後活動（クラブ活動など）時ににおける保障の検討など時代に即した保険となるよう、保険会社と協力しさらなる内容の充実を目指す。

3. いじめ防止対策活動助成事業

以前よりいじめ防止対策助成事業を行っているが、令和4年度は文部科学省から国立大学附属学校のいじめに対する活動についてさらなる対応が必要との指摘をいただいている。いじめの防止、早期発見および対処といった多角的ないじめ防止対策に関する取り組みを全国的に活性化させるために、大学と連携していじめ防止対策事業を行う単位PTAの活動を補助する。この事業を通じて国立大学附属学校だけでなく、公立学校など地域の学校にも活動が広がるようにしたいと考えている。いじめ防止対策助成事業は非常に重要な課題と認識しており、事業の周知を積極的に行う。

4. 財政教育プログラム関係業務・金融経済教育プログラム関係業務

財務省と連携し、財政教育プログラムのさらなる普及推進活動を行う。また、金融庁と連携し、金融経済教室プログラムの内容の充実およびさらなる普及活動を推進する。

5. 諸規定の整備

一般社団法人化にあたって概ね諸規程の整備が完了したものの、必要に応じて順次、継続的に諸規程の改廃を検討する。

6. その他

全国大会実行委員会、70周年式典実行委員会、運営企画会議への参画。

令和4年度 広報委員会 活動方針

副会長 谷田部 秀男

副会長 齋藤 伸

委員長 二村 美里

1. 広報活動全般（情報収集・情報発信・取材対応）

従来の活動に加え、これからの附属学校にとって重要な「改革と周知」について、他の委員会とともに様々な媒体を用い、附属学校、全附P連の情報を収集し発信する。

また、活動の電子化を取り入れ、エコ活動の推進と作業の効率化を図る。

2. 附属だよりの企画・取材・編集・発行

全附P連の活動方針、組織の紹介、各事業の報告、附属学校や単位PTAの特色ある取り組みを紹介する。

その他、附属OB訪問、省庁、連盟などのキーパーソンからのご寄稿のほか、新たな視点での附属学校の紹介も取り入れ、紙面の継続改善を実施。読みやすく、わかりやすい広報誌の作成に努める。

3. ホームページの企画・運営

最新情報の速やかな更新を通じて、全附P連の活動の活発さをアピールするとともに、さらに多くの会員の方が閲覧できる仕組みを検討する。

4. 絵画コンクールの実施

本年度は、福岡教育大学附属小倉小・中学校を主管校に開催する。新型コロナウイルス感染症対策の観点のみならず、作品の紛失などのリスク軽減や管理、審査の負担の軽減効果を狙い、フォトコンテストシステムを使つての募集や審査を行う。全国大会では主管地区作品のスライド発表、その他、全附P連ホームページ、附属だよりへの掲載を予定し、次年度開催への啓発を図る。

5. 作文・絵作文コンクールの実施

5年目を迎えた作文・絵作文コンクールに関して、より多くの子どもたちにご応募していただけるよう、募集時期、周知の方法を再考し、円滑な運営に努める。

6. 特別広報活動の企画・運営

SNS等への迅速な投稿により、新たな可能性に挑み、視覚に訴える広報活動を行う。また、多くの方にご支援いただけるよう、全附P連の輪を広げる活動を行う。

7. その他

全国大会実行委員会、70周年式典実行委員会、運営企画会議への参画。

令和4年度 研修委員会 活動方針

副会長 萩原 清明

副会長 田口 智之

委員長 山口 泰一

1. P T A研修会第13回全国大会の企画、運営

P T A研修会全国大会を通じ、直面する教育課題やP T Aの運営などについて討議や意見交換を行う。

「子どもたちとこの国の未来のために ～附属がこれまでやってきたこと、これからやっていくこと～」を大会スローガンとし、附属学校の新たな可能性について共に考察できるよう、様々な参加スタイルを取り入れ、保護者間および保護者と教職員とが繋がり、相互理解が深まる大会を企画、運営する。

また、本大会は、新型コロナウイルス感染防止対策を万全にし、第11回、第12回全国大会の経験をもとに開催し、後日配信する。日時や時間、地域を問わず、全会員に視聴参加いただけるスタイルを模索、チャレンジする。SDG sの観点から、環境問題への提言として書類のペーパーレス化、紙袋からエコバッグへ変更を試みる。

2. 全国大会実行委員会の運営

全国大会の実行委員会をしっかりと運営できるよう、準備、見直し、計画、活動を行う。

3. P T A研修会第14回全国大会の企画

第13回全国大会までの結果を分析し、第14回全国大会が参加者にとってより魅力ある大会となるよう企画、立案を行う。次年度も、新しい参加スタイルを融合させた大会が予想される。次年度にむけ、円滑に引き継げるよう準備する。

4. 国立大学附属学校全国同窓会との連携、大同窓会運営協力

国立大学附属学校全国同窓会は、附属学校に思いを寄せる時間を共有することで、附属学校の応援の輪を広げていくことを趣旨に、平成31年3月に設立された。大同窓会は、各界で活躍される同窓生の皆様が一堂に会える機会である。同窓会と連携し、第2回大同窓会の開催に協力する。

5. 附属学校の産学連携に関する調査研究

附属学校の産学連携に関することを調査研究する。

6. 附属学校の存在意義を高める教育プログラムの開発

これまでの受動的な学びから、能動的かつ体験型の学びへと教育は変わろうとしている。附属学校は日本の公教育を支える国の拠点校、地域のモデル校としての役割が求められていることを再認識し、子どもたちが「生きる力」を育めるよう、附属学校での取り組みをまとめ、広く情報共有ができる仕組みを構築する。

7. 広報活動

広報委員会と連携し、全附P連の活動についてより広く知っていただけるよう、P R活動を行う。

8. その他

全国大会実行委員会、70周年式典実行委員会、運営企画会議への参画。

令和3年度 幼稚園特別支援委員会 活動方針

副 会 長 谷田部秀男

副 会 長 萩原 清明

委 員 長 齋藤 伸

1. カンガルーシップ活動助成事業の企画・実施

校種を超えて子ども・教職員・保護者が連携し「理解」と「共生」を育む活動のサポートを行う。

「理解プロジェクト」「共生プロジェクト」「就労支援活動」「ネイバーサポート活動」の4つの活動に助成をし、申請事業内容の精査および申請者へのアドバイスを実施する。

また、活動実施報告をホームページ等で広く発信し、本事業への理解と利用促進を図る。

2. 特別支援学校・学級と幼稚園に関する調査研究

特別支援学校・学級と幼稚園を視察し、そこでの課題や現在の取組・成果について調査を行う。

調査研究報告をホームページなどで発信し各校園間での情報共有・連携・協働を推進する。

3. 卒業後の進路に関する情報の収集と共有

地域での特別支援学校卒業後に向けた課題および有益な取り組みについて収集・発信を行う。

就労を含む希望する進路実現につながる各団体との連携を推進する。

4. あいサポート運動関係業務

各地区にメッセージャーを養成し全国であいサポーター研修を行える仕組みを整え、学校全体であいサポーターの養成モデル校を募るほか、コロナ禍においてもリモートを活用するなど積極的な活動を行う。

5. 特別支援（障がい児・者）関係団体との連携

附属特別支援学校の存在意義を広げる可能性のある団体と積極的に接触し、特別支援学校PTA活動に有益な情報を持つ団体と交流を深め、情報の発信に努める。

6. PTA研修会第12回全国大会への参画

研修委員会をはじめ各委員会と連携し、特別支援・幼稚園に関する情報の発信を行う。

7. 広報活動（ホームページ運営含む）への協力

視察、各地区連合会などに参加し、幼稚園特別支援委員会の活動について周知を行う。

8. 特別支援・幼稚園における保護者間交流の推進

特別支援・幼稚園それぞれの保護者交流会を企画・運営し、学びの共有や交流機会の提供を行う。

9. その他

特別広報活動（幼稚園に関するムック本の発刊）への参画

全国大会実行委員会、70周年事業実行委員会、運営企画会議への参画